

【LINE】「LINE公式アカウント」において、本日より新プランの提供を開始 各種法人向けLINEサービスの「リデザイン」を本格始動

2018.12.03 法人向けサービス

「LINE公式アカウント」を中心軸とした、法人向けLINEサービスのさらなる充実と連携を目指す

来春には「LINE公式アカウント」と「LINE@」の統合も実施

LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）は、当社が運営するコミュニケーションアプリ「LINE（ライン）」および「LINE」関連サービスを活用した各種法人向けサービス「LINE Biz-Solutions」におけるサービスリニューアル「リデザイン」を本格始動し、また「LINE公式アカウント」において本日より新プランの提供を開始いたしましたので、お知らせいたします。

■ソリューションごとに分断されていたユーザーデータを統合し、最適なコンテンツ・サービスを訴求することで、企業とユーザーの長期的な関係性構築を目指す

LINEではこれまで、「LINE公式アカウント」「LINE ビジネスコネクト」「LINEカスタマーコネクト」「LINE@」などの各種法人向けLINEアカウントや、運用型広告「LINE Ads Platform」、店頭販促特化型ソリューション「LINE Sales Promotion」などの各種法人向けLINEサービスを通じ、企業とユーザーの双方にとって価値のある情報接点を提供し、コミュニケーションインフラとして多様な活用の可能性を広げてまいりました。

しかし、これまでは各サービス間での連携が薄く、それぞれのソリューションが持つユーザーデータを活かしてきれていないという課題がありました。そこでこの度、LINEの法人向けサービスでは、これまで各ソリューションごとに分断されていたユーザーデータを統合し最適なコンテンツ・サービスを訴求することで、企業とユーザーの長期的な関係性構築を目指す「リデザイン」を実施いたします。

■「LINE Account Connect」「LINE Ads Platform」「LINE Sales Promotion」の三本柱により、フルファネルでのLINE活用を実現

「リデザイン」後は、以下3つのソリューションを中心としたサービス展開を行います。また、以下の3ソリューションを総称し、「LINE Biz-Solutions」と呼称いたします。また、合わせてサービスロゴも刷新いたしました。



「LINE公式アカウント」をはじめとした、「LINEプロモーションスタンプ」、「LINEスポンサードエフェクト」などを含むサービスカテゴリー



「LINE」および「LINE」関連サービスを対象とした、運用型広告配信プラットフォーム



「LINE」および「LINE」関連サービスを活用した、店頭販促特化型ソリューション

今後はこれら3つのソリューション間におけるデータ連携をより強化することによって、月間利用者数7,800万人（2018年10月時点）の「LINE」のユーザー基盤を最大限活かし、セグメント・ターゲティングされたコンテンツ・サービス提供を実現するとともに、単なる「広告」ではなく、企業とユーザーの長期的な関係構築のためのサービスとして進化してまいります。

■「LINE公式アカウント」と「LINE@」の統合見据え、本日より新プランの提供を開始

また、各種法人向けLINEサービスの中心軸となる「LINE公式アカウント」においては、来春より「LINE@」との統合を行う予定です。従来大手企業向けに展開してきた「LINE公式アカウント」と、中小企業・店舗向けに展開してきた「LINE@」を統合することにより、サービス間の機能差を是正し、企業にとってはより多様な機能を利用しやすく、またユーザーにとっては、より多くの企業からの適切な情報取得を可能にします。

本日から、このアカウント統合を見据えた「LINE公式アカウント」における新プランの提供を開始いたします。

	フリープラン	ライトプラン	スタンダードプラン
月額固定	無料	5,000円	15,000円
無料メッセージ通数	1,000通	15,000通	45,000通
追加メッセージ料金	不可	5円	~3円 *詳細はお問い合わせください

新料金プランでは、「LINE公式アカウント」の利用が月額0円から利用可能になります。なお、これまで提供していた「API型公式アカウント」「LINE ビジネスコネクト」「LINE カスマーコネクト」はすべて「LINE公式アカウント」に統合され、各機能は「LINE公式アカウント」のAPIオプションとして提供いたします。

旧名称	新名称（オプション名）	機能概要
LINE ビジネスコネクト ビジネスコネクトAPI	Messaging API	ユーザーへの一方的なメッセージ配信だけでなく、特定のユーザーに対してより最適化されたメッセージを送り分けることができますようになります。さらに、ユーザーの同意のもと、企業の持つ既存のデータベースや自社システムとLINEアカウントを連携させることで、顧客管理（CRM）ツールや、業務ソリューションツールとしての利用も可能です。
LINE カスタマーコネクト (Auto Reply・Manual Reply)	LINE Chat API	FAQをもとにしたAIによる自動応答や、有人でのチャット対応による細かなサポートを可能にするAPI。企業のニーズや既存のシステム環境などに合わせて、各種連携システムから自由に組み合わせて実装することが可能で、状況やニーズに応じた適切なカスタマーコミュニケーションを実現します。
LINE カスタマーコネクト (LINE to Call・Call to LINE)	LINE Call API	ウェブサイト等からのLINE無料電話への誘導や、携帯電話の通話からLINEでのチャットサポートへの誘導を可能にするAPIです。企業のニーズや既存のシステム環境などに合わせて、各種連携システムから自由に組み合わせて実装することが可能で、状況やニーズに応じた適切なカスタマーコミュニケーションを実現します。

このような新アカウントプランの提供によって、企業は従来のようなメッセージの一斉配信だけでなく、CMS上のターゲティング配信やAPI配信をより積極的にご活用いただくことが可能になります。LINEは、企業のユーザーへの適切なメッセージを配信を推進し、「LINE公式アカウント」のユーザーコミュニケーションツールとしての価値をさらに高めてまいります。

LINEでは、今後も様々なメニュー提供やプラットフォームの改善を継続的に実現することで、企業とユーザーの双方にとって価値のある情報接点を提供し、コミュニケーションインフラとして多様な活用の可能性を広げてまいります。

■法人向けポータルサイト「LINE for Business」をリニューアルオープン：<https://www.linebiz.com/jp/>

「LINE Biz-Solutions」を中心としたLINEの各種法人向けサービスに関する情報を発信する法人向けポータルサイト「LINE for Business」をリニューアルオープンいたしました。ぜひご覧ください。